

# お洒落 サプリメント

②

## 夫をおしゃれに 変身させよう！

入口家は、いまどき珍しい三世同居家族。今年95歳になる父・万蔵さんは、昨年愛妻を亡くされたが、現在もすこぶるお元気。長女のミツエさん(60歳)は、いつも明るく社交的。小柄ながらその明るさと存在感はひまわりを思わせる。一方、主役であるご主人・航二さん(64歳)は、自営業を営む器用で仕事一筋の真面目タイプ。

主にシニア男性のファッションをテーマに、パーソナルコーディネートをするのが私の仕事。「おしゃれに無頓着な主人を、何とか一緒に出かけたくなるような主人に変えてほしい」という奥様の要望に応えるのが、私の使命。これからの季節は、涼感、清潔感も大切。流行にとらわれないシニアファッションを求めて、ショッピングへと出かけた。

スリムな体系に整った顔立ち、ロマンスグレーという風貌に合わせ、ソフトなイメージで演出を試みる。まず、ジャケットで涼感を出すには色や素材がポイントになる。そこで麻の素材にオフホワイトかベージュ系のスーツを探す。これなら清潔感も同時に満たすことができる。ただ、近似色で合わせるときはトーンのバランスに注意が必要。シャツは、スーツを着るときのネクタイ役と考えるとわかりやすい。大胆な色柄シャツも悪くないが、オーソドックスな白のボタンダウンに落ち着いた。スラックスは、セオリー通り、ダークな色合いで全体を締めたいところだが、あえて同系色のベージュを選択。アクセントにブラウンとベージュの編み込みベルトを合わせると、見事に決まった！最後は、奥様が見つめてきたストライプのおしゃれなソックスで締めて、変身完了！

見事な変身ぶりに奥様は大満足。そして誰より気を良くしていたのは、これまでおしゃれに無関心だった(を装っていた?)当のご本人。家に帰るなり2人の娘からは「かっいいい!」「若返ったね!」の賛辞が贈られた。家族揃っての記念撮影は、年頃の娘たちには逃げられた?が、高齢のお父様が、(失礼ながら)「<sup>おっさん</sup>努々そのお歳とは見えない」若々しい出で立ちで登場。「娘婿に負けじ」と天晴れなおしゃれぶりを披露してくれた。

入口家の最新ニュースといえば…間もなく、気候も温暖な千葉県勝浦に、家族全員による手づくりログハウスが完成するという。なるほど、暮らし方からしておしゃれというわけだ。

